

原子力規制委員会記者会見録

- 日時：平成 25 年 2 月 13 日（木）17:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：田中委員長 他

<質疑応答>

- 司会 それでは、時間になりましたので、只今より原子力規制委員会の定例の会見を始めたいと思います。
- 本日は特に委員長から御報告ございませんので、只今から皆様方の御質問をお受けたいと思います。質問のある方は、マイクが届いてから、所属とお名前をおっしゃって、それから御質問をお願いしたいと思います。
- それでは、質問のある方、挙手をお願いします。オオノさん、どうぞ。
- 記者 恐れ入ります、東京新聞のオオノと申します。
- 地域防災計画についてお伺いしたいと思います。135市町村のうちの4分の1が策定作業を外注しているという実態がございまして、その理由について、多くの自治体が、人手が足りないですとか、それからあと、原子力災害の知識がないからということを行っているわけなのですが、委員長は、地域防災計画を新基準と併せて原発の安全確保の車の両輪であるとおっしゃっているわけなのですが、外注しているという実態への見解、それから、どんな対応を考えていらっしゃるのか、お聞かせください。
- 田中委員長 外注しているというのは新聞報道で見ましたけれども、前にも申し上げましたけれども、自らが勉強しながら計画を作ること自体が防災計画の最も大事な視点になるので、そういったことは基本的にはやめるべきだと、やめていただきたいというところはありますが、私は命令できる立場ではないので、それ以上のことは申し上げませんけれども、知識がないとか、そういうことについては、前々から何度も申し上げていますし、各地方にも伝わっていると思いますが、規制委員会、規制庁職員が出来るだけお手伝いすることにはしていますので、そういう方向でやっていただくようお願いしていくつもりです。そういうふうに言っております。だから、私がお聞きしている限りにおいては、うまくいっているところと、そうでないところと、各地方のところと、一般的なくくりではなくて、やや個性が出ているのではないかという感じがしています。
- 記者 個性が出ているというお話ですけれども、法令上は3月18日が締め切りとなっているのですけれども、形だけつけばOKというわけではないと思うので、完全なものを作るという意味での締め切りなのか、その辺の御見解をお聞かせください。
- 田中委員長 3月18日は一応目途だと、私はこれについては思っています。車の両輪だということですが、実際には炉がほとんど止まっていますし、そういう意味では、時間的には、必ずしもリジットにそこに決めてしまうというよりも、実際には、ある程

度作った上で、いろいろ実践訓練とか何かをやって、具合が悪ければそれを直していくとか、そういうことも必要だと思います。今回は、今までの防災計画とは中身が大分違ってきていますから、そういう意味での訓練はとても大事だし、そのやり方についても、どういう訓練をするかということについても、今、規制庁内ではいろいろ検討させていただいています。

○司会 よろしいですか。

○記者 もう一点だけ。車の両輪という話に絡んでもう一つなのですけれども、再稼働と地域防災計画との関係について、もう一度確認させていただきたいと思うのです。

○田中委員長 いわゆる再稼働に足るかどうかという安全の評価をするかどうか私どもとして評価することと防災計画とは、法的にはつながってはいないのですが、実際問題として、再稼働という段階は、これは前々から申し上げているように、私たちが判断することではなくて、最終的には、政治とか、事業者とか、地域とかがいろいろ相談して、合意で動くのだと思うのですが、その時の条件としては、必ず防災計画というのがきちっとして、地域の方が安心できるかどうか大きな条件になるでしょうということで、私は車の両輪になるだろうということで、私たちの規制委員会の任務として、防災指針というのを急いで検討してきたという経過があるということでございます。

○記者 どうもありがとうございます。

○司会 それでは、次の方、いらっしゃいますか。では、ニシカワさん。

○記者 毎日新聞のニシカワです。

問もなく人事案が国会で同意が得られる見通しが立ったと思いますけれども、発足から5か月が経って、ようやく仮免許が取れるということに対する点への委員長の御所見と、これまで国会同意がなかったがゆえに何か出来なかったことがあるとか、やりにくかったことがあったかどうかを教えてください。

○田中委員長 同意人事がどうなるかということについては、イエスかノーかは全然私の関与する世界ではないので、どうなるかは結果が出ていませんから、分かりません。だから、それについては、私の方から何か申し上げることはありませんけれども、これはいろいろなところで申し上げていきますけれども、同意があるかないかということと、我々がやるべきことというのは、特に関わりはないというか、直接的影響はない、あつてはならないという思いでやってきていますので、それは今までと特に変わりはないと思っています。周りは、御批判とか、いろいろな御意見があったのは十分承知していますけれども、私を含めて、他の4人の委員もそういう思いでやってきていると思っています。

○記者 ありがとうございます。

○司会 では、次の方いらっしゃいますか。では、ミヤジマさん。